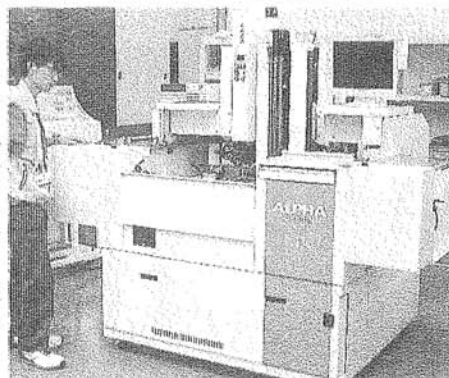


住民グループを支援してい
総会では、会長に石田治一、石田氏は「農業や農地活用へ

電子部品取り付け装置事業

シチズンミヨタが譲渡

シチズンミヨタ（北佐久郡御代田町）は、大容量コンデンサーなど電子部品をプリント基板に取り付ける装置の特許権や営業権を、F.A（ファクトリーオートメーション）機器製造のアルファードデザイン（東御市）に譲渡した。シチズンファインテック（御代田町）との合併を七月一日に控え、水晶振動子などの「水晶デバイス事業」に経営資源の集中を図る狙い。アルファードデザインは同装置を事業の柱に育て、二〇一〇年六月期に売り上げ二十億円を目指す。



アルファードデザインがシチズンミヨタから事業譲渡を受けて販売を始めた電子部品取り付け装置

装置の商品名は「ボードペッカー」。約千五百台の納入実績があり、アルファードデザインは同じ名称で既存ニシリーズの販売を始めた。八月には取り付け速度を二割高めた新機種を発売し、品ぞろえを拡充する。シチズングループは技術者二人、営業担当三人を出向させた。譲渡は一日付。譲渡価格は明らかにしていない。

水晶デバイスに集中

アルファードデザイン「事業の柱に」と取得

い、基板の表面に直接はんだ付けする方式が増えている。一方、大容量のコンデンサーや抵抗器はリード線をプリント基板の穴に挿入して固定する必要がある。

シチズンミヨタは電子デバイス事業の「選択と集中」（同社）の一環で挿入方式の取り付け装置事業を手放すことを決め、昨年度末にアルファードデザインに譲渡を打診。同社は、電装化が進む自動車業界を中心に挿入方式の需要が今後拡大すると判断した。

シチズンミヨタとファインテックはシチズンホールディングス（東京）の子会社。合併で携帯電話向けなどに需要が拡大している水晶デバイス事業を強化する。

アルファードデザインは一九八九年設立で、〇七年十二月期の売上高は約二十九億円。森沢正良社長は「今秋にも輸出を始めて事業を拡大し、二一三年以内の株式上場を目指したい」としている。

★工場の新機
H悦社
タ300
市で開
展の一
設工機
保安妥
工場
設置
真。定
製品は

経済人

心の立ち位置 決めよう